

にしっこ 西っ子のみなさんへ 29

7月1日

きょう 7月1日は、国民安全の日です。暑くなり気がゆるみ事故が増えることから、この日
が選ばれたようです。

さて、ここ数年全国の交通事故件数、交通事故死者数ともに減少しており、とても好ま
しいことです。これは、事故防止のための装置がついた車が増えたことが要因の1つと考
えられています。

小学生の交通事故は、歩行中の事故数が一番多く、続いて自転車運転中となっています。
歩行中の交通事故のほとんどは道路を横断する時に起きていますが、横断歩道を渡ってい
る時というものは少なくはありません。以前、部活の指導中に次のようなことがありました。

けっこう大きな交差点で信号が変わるのを待っていました。赤信号が青信号に変わったの
で、横断歩道を渡り始めました。そこに自動車近づいてきました。もちろん自動車側の信号
は赤信号であるし、運転手からは横断している姿が見えているはずなので、停止線で止ま
ると思い込んでいたのですが、この車の運転手は、前をよく見ていなかったのか、ぼーっ
としていたのかわかりませんが、停止線で止まらずに横断歩道の中まで侵入してきて
急停車しました。私の少し後方を横断していた生徒は、とっさに跳び下がったので幸い
引かれず済んだのですが、顔面蒼白でしばらく身動きができない状態でした。この生徒は
当然車が止まるものだと思っていたはずですが、ある段階でこの自動車は止まらないかも
しれないと判断して、身を守る行動をとったためなんとか引かれずに済みました。信号が青
だから大丈夫だと思い、前だけを見て渡っていたならば、たぶん引かれていたことでしょう。

つまり、信号に従い、横断歩道をわたれば事故に遭わないかということそうではないとい
うことです。

交通事故に遭わないようにするには、個々が交通ルールを守り、「もしかしたら・・・」
と思いながら、車から目を離さず、車の動きを確認す
るしかありません。確認もせず横断する飛び出しは
もってのほかです。

学校が始まったこの6月、岐阜県内の小中高校生
が関わる交通事故が27件発生しており、そのうち
自転車による事故が22件と8割を占めています。
自転車に乗る時も十分に気をつけてください。



校長より

